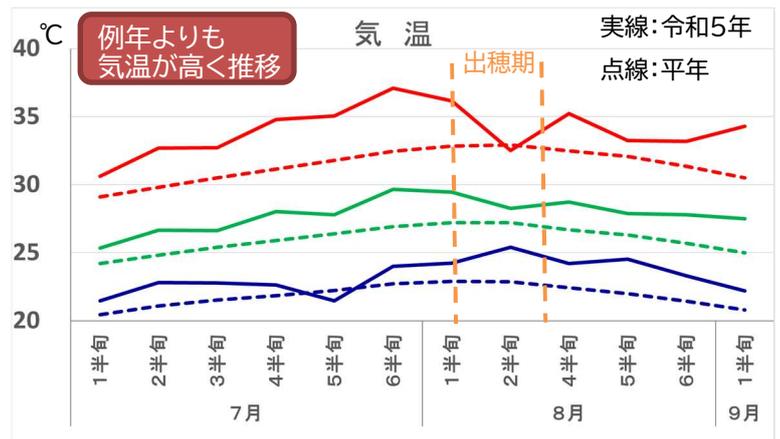


適期収穫を実施しましょう！

～連日の高温で収穫時期が早まる見込みです～

1 生育概況

今年の「きらみずき」では、登熟期間中の気温は高温が続いていることから、例年よりも登熟期間が短くなり生育が早まっていることから、収穫時期も早まる見込みです。



2 収穫時期の目安

今後の気象などにより収穫時期が異なるため、必ずほ場を確認して適期収穫に努めましょう！

(表)管内実証ほの出穂期および収穫期の目安

移植日	5月5日頃	5月10日頃	5月20日頃
出穂期(※1)	8月4日頃	8月9日頃	8月12日頃
収穫期(目安)	9月8日～	9月13日～	9月16日～
登熟日数(※2)	33～43日		

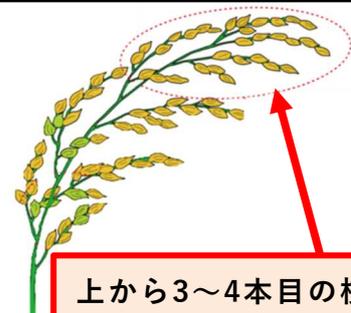
※1「出穂期」は管内11地点のデータをとりとめた結果。

※2「登熟日数」は平成27年～令和4年の農業技術振興センター試験データ。

3 収穫適期の判断

- ・収穫時期が近づいたらほ場に入り、籾の黄化を確認しましょう。
- ・収穫適期は、穂の上から3～4本目の枝梗につく籾がすべて黄化した頃(籾黄化率85～90%)です。
- ・気温が高く推移すると登熟日数は短くなります。出穂後30日を過ぎたらいつでも収穫できるよう準備をしましょう。

収穫適期の籾 (黄化率85%)



上から3～4本目の枝梗につく籾がすべて黄化

4 今後の水管理

今年は高温日が多いことから、胴割粒や白未熟粒の発生により玄米品質の低下が懸念されるため、収穫作業に支障のない範囲(収穫5日前落水を目安)で落水を遅らせ、生育後半まで稲の活力を維持させましょう！